

変形性膝関節症に対する脛骨顆外反骨切り術の有効性に関する後方視的検討へのご協力をお願い

京都九条病院整形外科では、変形性膝関節症の方を対象にした研究「変形性膝関節症に対する脛骨顆外反骨切り術の有効性に関する後方視的検討」を実施いたします。そのため、過去に「脛骨顆外反骨切り術」を受けられた方々の診療録等の情報を遡って調査させていただきたいと考えています。本研究の実施にあたり、京都九条病院医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切であると承認を得ています。

研究の目的

変形性膝関節症に対する膝周囲骨切り術は確立された治療方法です。しかし、進行した末期変形性膝関節症や不安定性を有する変形性膝関節症に対する膝周囲骨切り術の適応はまだ確立されているとは言えません。当院では、膝周囲骨切り術の一つである脛骨顆外反骨切り術を行い、安全かつ良好な治療成績を得ています。この手術を受けられた方の情報を検討することで、上記の変形性膝関節症に対する脛骨顆外反骨切り術の有効性を確認し、さらに課題を洗い出して今後の改善点とすることを目的としています。

研究の方法

2017年12月1日以降に当科で脛骨顆外反骨切り術を実施した変形性膝関節症の症例で、2年以上の経過観察が可能であった方を対象とします。また、診療録(カルテ)から以下の情報を取得します。

情報：性別、年齢、身体情報(身長、体重、血圧など)、病歴、家族歴、併存疾患、既往歴、嗜好歴、画像情報(X線、CT、MRIなど)、カルテ番号

個人情報の取り扱いについて

情報を扱う際には、個人情報とは無関係の記号を付し、個人を特定できないように匿名化します。外部への提供も行いません。個人情報管理者は研究責任者とし、収集した情報は研究責任者のみがパスワードを知るコンピューター上のファイルに記録し

ます。収集したデータは施錠可能な院内に設置し、研究責任者の責任の下、厳重な管理を行います。患者さんの情報などが漏洩しないよう、プライバシーの保護には細心の注意を払います。

お問合せ先

本研究への参加を拒否する場合はお申し出ください。参加を拒否した場合でも、治療や診断等において不利益が生じることは一切ありません。ただし、同意を取り消した時点で既に研究結果が学会や論文などで公表されている場合など、廃棄することができない場合があります。

研究責任者: 京都九条病院 整形外科主任部長

渡邊信佳 電話: 075-691-7121